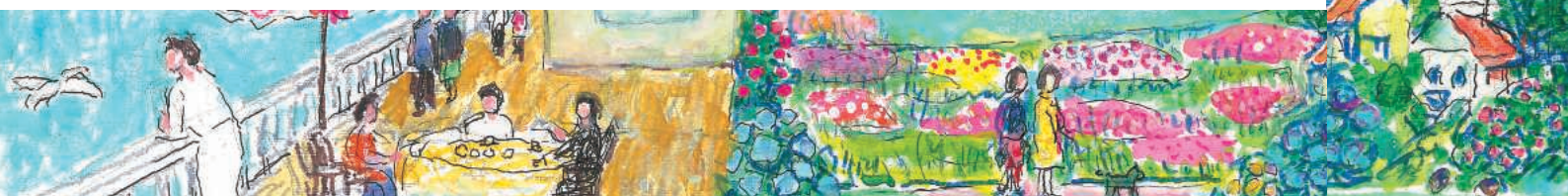




# The Rotary club of Kobe East **BULLETIN**



神戸東ロータリークラブ会報 No.400 2023-2024 No.2

表紙絵：太原 震也元会員



会長／樋口 一哉 副会長／吉田 博 幹事／和田 真一  
広報委員長／村井 通浩 副委員長／石橋 恒生  
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日



クラブ会長テーマ **WORK HARD FOR THE FUTURE**  
“未来に向けてがんばろう”





2023-24 年度 神戸東ロータリークラブ

第70代会長  
理事 樋口 一哉

### 一年を振り返って

1年間本当に皆様にはお世話になりました。70周年ということもあり、毎月のように奉仕事業、懇親会をやらせて頂きました。思い起こしますと、立ち上がりの7月に全日本ロータリー親睦合唱祭を主催しました。大変な準備を経て大会を成功させました。

最後の親睦会の盛り上がりは今も脳裏に焼き付いています。有難うございました。

夏から秋にかけて、懇親会2回、有馬温泉での家族旅行を実施致しました。一泊もいいものですね、今後の参考になれば幸いです。9月にはハワイでホスピスボランティア研修を行いました。これからのホスピス事業の一助になればと思います。さらに、恒例の招待ボウリング大会、ちびっこラグビー大会も行いました。年末の忘年家族会は、史上最大の動員とチャリティーの売上を記録しました。米山奨学基金にもロータリー財団にも多額の寄付が出来たと思います。年明けには、神戸東灘 RC、ベイ RC の参加を得て合同新春例会を行いました。久しぶりの

お茶会と共に、東灘クラブ会員から仙介を分けて頂き鏡開きも行いました。10年ぶりに出来て良かったと思います。2月末には、京都東、大阪東、とともに三東会を神戸で行いました。今回は70周年ということもあり、全員でお迎えするコンセプトのもと、盛大に開催させて頂きました。4月の70周年記念式典では、ウクライナのパレエから始まり、安行ガバナー他地区から多数、神戸第一グループからは、会長幹事の参加も得て、総勢200名近い方々にお祝い頂きました。創立当初の紹介、過去5年間の活動報告も行われました。懇親会では、金婚銀婚、皆出席の表彰、更には執行会員の100歳お祝いをさせて頂きました。音楽指導の西村先生への慰労も行われました。サプライズでのオペラもあり、大いに盛り上がり、「手に手つないで」歌い締めくくりました。

5月末には、総勢12名でシンガポールの国際大会に参加して参りました。

ROTARY SHARES THE SAME VALUE、つまりロータリーは価値観を共にする者の集まりである。とアピールされていました。会議は、席がない程大盛況でした。

また、シンガポール RC 主催の HOSPITALITY NIGHT に参加させて頂きました。

世界中にから姉妹クラブが集まりベストドレッサー賞選びもあり、大いに盛り上がりました。昼間は各自観光などのんびりと過ごせました。

この1年は毎月何か行事があり、担当の皆様には、多大な負担をおかけしました。

この場合をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。





副会長  
理事  
クラブ管理運営委員長  
吉田 博

私は長期に亘って、脳腫瘍の療養の為ロータリーをお休みさせていただき、会長、幹事をはじめとする要路の方々にご迷惑をお掛けして誠に申し訳ございませんでした。退任に際し、皆様の私への励ましに対する御礼と現在の病状を簡潔にご報告致します。

私は令和5年9月20日三宮の日本料理店の石畳の処で転倒し左顔面を強打して、神鋼記念病院に救急搬送された際に念の為にCT検査をしてもらいました処、翌日、病院から再検査の要請がありMRIの検査等をした結果、脳腫瘍が見つかったと診断されました。その後、種々の検査の後、手術をしなければならぬことになり、12月5日に神鋼記念病院脳外に入院し、7日午前9時～午後9時まで約12時間の大手術を受けました。右耳の上から額の真ん中あたりまで約20cmを切って、腫瘍の組織の一部を取り出し、病理検査に付されました。幸いにも良性であると診断が出ましたが、この開頭手術で全ての腫瘍組織を取り出せた訳ではありません。主治医の治療方針で、今後は放射線治療を中心することになり、具体的には、放射線治療の一つであるガンマナイフ治療を4月に「新須磨病院」にて受けることになりました。新須磨病院は自宅近くにあり、この病院はガンマナイフ治療では兵庫県で高い評価を得ているそうです。新須磨病院において、ガンマナイフ治療の目的は開頭手術で取れなかった

脳腫瘍組織を化石化するためと説明を受けました。4月16日を第1回目とする連続5回の治療を受けることになり16日の第1回目は痛くも痒くもない治療でしたが、17日の第2回目のガンマナイフ治療が終了すると、右眼と右眼の奥の視神経が痛みだすとともに吐き気を催し大きな副作用が発生致しました。ガンマナイフ治療の担当のドクターもこんな副作用は見たことがない初めてですと言われました。直ちにガンマナイフ治療は中止となり約3カ月様子をみることになりましたが、右眼が開かず何も見えない状態が5月下旬まで継続しておりました。6月に入ってから右眼が少し開いてきて光を感じることができるようになってきましたが、現状は脳内に残された脳腫瘍、右眼と右の視神経の不具合、右頬の痺れとの闘いです。今は右眼に眼帯をして生活をし、仕事場に出勤することができるようになりました。今後の治療がどのようになるのかは、7月下旬の検査と診察によって決定しようとのこと。まだどうなるか分かりませんが、前向きに生きてゆく決意です。

神戸東ロータリークラブの関係者の方々からは本当にたくさんのご激励をいただき何とか今日まで前向きに生きていることに感謝の気持ちで一杯です。大変にありがとうございます。

私は、副会長として特段のことをしておりませんが、70周年記念事業実行委員会の記念誌部会を担当させて頂いておりますので、最低限記念誌に掲載予定の「パンデミックとロータリー」をテーマにしたコロナ禍の4年間の元会長元幹事の座談会を成功させたいと祈念しておりました処、関係者の前向きなご協力とご努力をいただき完成しておりますことは嬉しい限りです。この座談会は令和5年11月28日に開催致しました。私は司会をさせていただきましたが、その内容を一言でまとめれば、「私たちの神戸東ロータリークラブは、元会長元幹事らを中心に会員の方々のご協力のもと、コロナ禍に打ち勝った。」という感想を抱きました。詳細は記念誌の座談会記事をお読み下されば幸甚です。



幹事  
理事 和田 真一

本年度は創立70年というクラブにとってのメモリアルイヤーでした。まずは各周年誌の読み返しから始めました。当クラブでは、ロータリークラブである以上、やはり職業奉仕を大事にしております。各周年誌においても必ず職業奉仕の特集を掲載していました。会長方針の「WORK HARD FOR THE FUTURE」のWORKには様々な意味が込められていると思いますが、奉仕という意味も当然入っています。そのような会長方針にふさわしく、奉仕に親睦にとフル稼働した、創立70周年記念の一年となりました。

7月に全国親睦合唱祭を主管いたしました。長年続いてきました全国合唱祭もコロナ禍でその存続が消えかけていました。令和4年5月に開催した名古屋での大会の際にはまだ次の開催地や時期が決まっていませんでした。当クラブのコーラス同好会の皆様が、70周年の記念事業の一つとして神戸で全国合唱祭を開催することを働きかけ、実現することができました。創立50周年の際も神戸で開催し、当クラブが主管するのが2回目となりました。同好会行事ですが、全会員の皆さまにご協力をお願いしました。おかげさまで全国から約500名のロータ

リー会員を神戸にお招きすることができ、創立70周年のスタートとしては盛大すぎる始まりとなりました。

毎回の例会は、プログラム委員会の最初の方針通り会員卓話を中心としたプログラムでした。70周年にふさわしく、ロータリークラブの本質だったかと思います。五百旗頭名誉会員の卓話も結果的に最後になってしまいましたが、素晴らしいお人柄に感銘を受けました。出席委員会も毎月、月初に例会出席率の報告をしてくださいました。少し下降気味になってしまったので次年度では頑張してほしいと思います。

9月には国際奉仕委員会のVTT事業としてハワイでのホスピスボランティア研修にたくさんのメンバーが同行了きました。近隣のクラブから多額の支援も賜り、新聞にも取り上げてもらいました。

11月には昨年から2回目となります、青少年奉仕委員会のkobeっこラグビー大会が、秋晴れのもとたくさんの幼稚園児の笑顔があふれていました。毎年恒例の社会奉仕委員会のボウリング事業も2回行われました。

そして70周年前にチャーターナイトが行われた有馬温泉で一泊旅行。12月の恒例の忘年家族例会では、過去最多ぐらいのたくさんの出席者とチャリティーを賜りました。1年を通して、親睦家族の皆さまにお世話になりました。例会の毎回の受付などありがとうございました。

創立60周年の際にも合同例会が行われたことにならない、新年合同例会を開催いたしました。現役の幹事のご不幸などにより新年のお祝いを見合わせて参加かないませんでした六甲クラブと、自クラブの新年会が重なったプロバスクラブ以外の東灘・神戸ベイ・神戸東の3クラブでしたが新年らしくにぎやかに開催できました。

1月には職業奉仕委員会の記念事業として1カ月

間職業奉仕の卓話をお願いいたしました。職業奉仕についてそれぞれの新たな発見があったかと思いません。

2月には大阪東クラブと京都東クラブを神戸にお招きして三東会を開催いたしました。会長の方針で今年は理事役員委員長だけでなく皆さまに参加してもらい、両クラブをお迎えして親睦を深めました。今後、両クラブはそれぞれ70周年迎えられるので、今度は逆にお邪魔することになるかと思いません。両クラブからはおもてなしに対する感謝のお言葉をたくさんいただいております。

3月のポリオゴルフはまさに神戸東の強さが出たかと思いません。クラブにいるだけだと地区の活動はあまりみえてきません。私は本年度地区の財団委員会にも所属していましたが、奉仕活動にはお金が必要となります。その重要性に対して各会員の認識は千差万別かと思いません。そんなことは置いておいて、当クラブの須藤ガバナー補佐、ロータリー財団委員会の呼びかけでゴルフ同好会が、70周年の一貫として多大なご協力をくださり、たくさんの方が当日参加、そしてゴルフに参加できなくてもチャリティー参加してくださいました。

4月の記念例会は歴史の重さはもちろんですが、当日のプログラムの内容がとにかく楽しかったです。オークラの美味しい料理とともに、楽しく70周年をお祝いすることができたと思いません。予定者の時から長い期間をかけて野々村実行委員長を中心に委員会が準備してくださった結果です。

その他、シンガポールでの国際大会や、地区補助金を利用しての交換留学生の送り出し、米山記念奨学生を受け入れも続いております。恒例のラウンドテーブルも2回開催されました。会員数に関しては、残念ながら純減してしまいましたが、今後必ず新たな波が起こってくると信じています。周年誌を読み返して記録の重要性も感じました。週報は毎週会員に向けて発信する唯一の情報です。週報に始まり週報に終わるといっても過言ではないと思いません。周年記念誌の作成も本年は必須でしたので、週報と広報に関しては吉田副会長にお願いして強い委員会を作ってもらいました。

ということで、感謝してもし足りないですが、皆さまのおかげで無事に一年を終えることができました。ありがとうございました。







## 創立 70 周年式典・祝賀会を開催しました



### 創立 70 周年実行委員会・雑感

今年度当クラブでは、クラブ運営、委員会、同好会等すべての活動を創立 70 周年に因む事業として取り組みました。会員の皆様、特に三役、理事役員、各委員会の委員長や同好会の世話役の方々本当にご苦労様でした。

奉仕事業については会員からの提案と会員自らの参加により素晴らしい事業がなされていますし、親睦会、家族会、同好会も活発に行われています。故にこのクラブはロータリーの基本である親睦と奉仕のバランスが非常に良く取れたクラブであると言えます。

その集大成として 4 月 9 日に開催された創立 70 周年記念式典、祝賀会は盛況のうちに終わることが出来ました。当日お越しいただいた来賓の方々にも大いに楽しんでいただけたことと確信しています。このような大きな会を催すことはクラブの一体感を高めますし、また、これを通じて我がクラブの活力を垣間見ることが出来た気がします。今後も 75 周年と言わずさらに先の 100 周年に向けてこの活力

を引き継いでいただきたいと思います。

現在、地区の各ロータリークラブでは一様に、物価高騰、世代交代、会員増強など色々な課題を抱えながらクラブ運営をされています。

我がクラブでも、諸物価高騰の折、周年を祝うための予算と支出をどうバランスさせるのかに担当の皆さんは苦労されたと思います。会員が期待する非日常感を演出する為に必要な予算が長く続いたデフレ下では手当しやすかったですが、急激な物価高騰の中では大きな出費となり、そのアンバランスは簡単には解消されないと思います。クラブの活性化には、やるときには思い切った出費も厭わないという姿勢も必要かと思ひますし、その出費に堪える財務体質の強化も重要な所です。

クラブに活力を与えるのは若い会員ですし、威厳や緊張感を与えるのはクラブ歴の長い会員です。世代を超えた意見交換の中から、40代から100歳までの幅広い世代の会員全員の居心地が良いと感じるクラブを目指して行っていただきたいと思います。

(創立 70 周年副実行委員長 須藤 雄二)

# VTT ホスピスボランティア「ハワイ研修プログラム報告」



2023年9月23日(土) 出発時集合写真 関西国際空港にて  
VTTメンバー、神戸東RC随員(中井、伴)、姫路南RC岡田夫妻



2023年9月24日(日) 17:30～  
神戸東RC招待親睦夕食会  
ホノルルRC及びWSCHの各メンバー、後藤VTTリーダー、  
VTTメンバー、神戸東RC随員(樋口会長、井元、伴、中井)



Kalakaua Gardensにて



HI'OLANI Care Center 外観



Kalakaua Gardens 外観



HI'OLANI Care Centerにて



## ホスピスボランティアハワイ研修プロジェクト 顛末記

国際奉仕委員長 中井 章詞

本プロジェクトは、初回、2020年3月に地区補助金によるVTTとして計画しましたが、コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により2度の中止を余儀なくされ、3度目の今回、2023年9月23日から同年9月28日の日程で実施の運びとなりました。

### 本プロジェクトの主旨

近年「最期まで人間らしくありたい」と、終末期を自宅で過ごす方が増加していますが、日本では、終末期の心のケアや支えを行うホスピスボランティア（HV）の、人材育成が欧米に比べて不十分です。そこで、本プロジェクトは、日本のHVに、ホスピス先進国であるアメリカのハワイで、研修を行い、日本のHVの知見を深め、帰国後、それらを日本国内で啓蒙発信することで、日本のHV全体の資質の向上に繋ぐプロジェクトを企画しました。また、当クラブ会員であった医師の関本 剛 会員が47歳の若さで癌に侵され約2年間に渡る闘病生活の中で、終末期医療に携わる医師が看取られる際に、HVが心の支えとなったと申されました。関本会員の遺志の為にも、当クラブ創立70周年の節目に合わせ本プロジェクトの実施に取り組みしました。

補助金申請は、神戸東ロータリークラブ（RC）が提唱クラブとして、協同提唱クラブとして、神戸第1グループから神戸、神戸東灘、神戸南、神戸六甲、神戸ベイ、神戸第2グループからは神戸西、神戸中、神戸モーニングの計8クラブ、協力団体として神戸国際医療交流財団、実施国（派遣先）では、ホノルルRCの支援を頂き、地区補助金による職業研修チーム（Vocational Training Team: VTT）を申請、地区VTT小委員会の予備審査後、地区補助金小委員会の申請承認をもって、米国ロータリー財団本部の最終承認（2023-24年度地区補助金（DG2448832）が下り、本プロジェクトは本格的に活動を開始しました。

### 職業研修チーム（Vocational Training Team: VTT）の構成

リーダー：後藤 章暢 神戸東RC

メンバー：松井 由子・山口 妙子 神戸つむぎの会（神戸唯一のHV団体）、

谷村 俊之：公益財団法人 神戸国際医療交流財団（研修運営担当）

### 研修日程概要：2023年9月23日（土・祝）～同年9月28日（木）

日付	時間	研修内容
9月23日（土）	20：45	関空20：45発 HA450便にて日本出国、
9月23日（土）	10：00 16：30～	アメリカ入国、ハイアットリープレイスワイキキビーチ宿泊 ホノルルRC及び、Women Support Center of Hawaii (WSCH) メンバーとの打ち合わせ・オリエンテーション
9月24日（日）	9：30～ 15：00～ 17：30～	Century CenterにてWSCHメンバーによる ハワイにおける終末期対応について講義及び意見交換会、 ホノルルRC直前会長 ハワイ的対人接遇の基本について講義 ホノルルRC、WSCH、VTTメンバー、神戸東RC随員 神戸東RC招待親睦夕食会
9月25日（月）	9：30～ 13：30～	HI' OLANI Care Center（大規模高級ハワイでも有名なホスピス）、 Nagomiフォスターホームズ（日本的コンセプト小規模ホスピス）、 見学、講義、実習、意見交換会、



9月26日 (火)	9:30～ 12:00～ 13:30～	Kalakaua Gardens (大規模複合介護施設) 見学、講義、意見交換会、 ホノルルRC例会席 Nagomi フォスターホームズ実習 随行者は、ハワイ大学医学部見学
9月27日 (水)	12:10	ホノルル空港12:10発 JL791/Z便にてアメリカ出国
9月28日 (木)	16:10	関空日本入国

## 本研修プロジェクトで学んだこと

9月24日(日)：日本では、資格や業種間での役割や作業分担が曖昧になっているのに対し、現地では、資格や業種による作業分担が明確化しており、合理的に運営され、今後の、日本での方向性が示唆されたが、看護・介護に於いては、日米共通して人に対する温かい思いやりの心が必要であることも確認された。

ホノルル RC 直前会長である Lyla Berg 博士による英語での講義中、Hawaii の意味、Aloha の意味はそこに出逢った事を喜び、互いの生命の尊さを確認し讃え合う気持ちで接し、常に肯定的態度で接する事が重要だと論じられた。

9月25日(月)：HI'OLANI Care Center は、高級住宅街カハラヌイの元小学校の校舎を改造して作られた、ハワイでも有名な高級ホスピスで、日本では、このような施設で有りがちな全員同じ日替わり定食ではなく、一般のレストランと同様に自由にメニューを選ぶことが出来る、広く明るい食堂で、遠くにダイヤモンドヘッドが見える事が印象的であった。

Nagomi フォスターホームズは、数少ない日本人スタッフが運営する非営利団体で、オーナーの三浦佳代子が自宅の一部を開放され、自分の家では看取る事が出来ない終末期患者さんを無料で預かりケアを提供され、この運営は、グループの有料ケアホームからの利益とコミュニティからの寄付によって行われており、可能な限り最も人道的な方法で一人一人の人生を祝うのを助ける為に活動されていることが特徴的であった。

9月26日(火)：Kalakaua Gardens は、ワイキキの中心アラモアナから数分の所に位置し、人生の全ステージに対応できるよう初めから施設専用設計された高層ビルで、完全自立のシニアがホテル同様の暮らしが出来る最上層階、生活に介助や介護の必要となった段階での介助・介護付き住宅としての高層階、記憶等に障害の見られるようになった時の認知対応型の中層階及び高度看護サービス・リハビリテーションを要する低階層と、一つのビルの中で入居者の身体状態の進行に合わせて順次、高層階から低層階へ移動していくシステムで、一つのビルの中で、老後の人生が完結される事に、驚きを感じると共に、狭い都会での老人施設の在り方の一つとして参考になった。

また、老人施設におけるポイントは、食事とリハビリテーションを含むリクリエーションであると改めて感じさせられた。本施設の見学に際しては、姫路南 RC から、岡田夫妻、有川氏、内藤氏も参加され、有意義な見学となった。

## 9月26日(火)：ホノルル RC 訪問

45ドルのビジター料金を払い所属 RC の名前を伝えると、来訪者にはレイを掛けてくれ、一目でビジターであることが分かるようになっていた。例会は、ビュッフェスタイルだが、食事は、例会開始前から先に来たメンバーから各自勝手に食べ始め、日本の RC のように全員そろって食べ始める事は無かった。今回、VTT のリーダー



で当神戸東 RC の国際奉仕委副委員長でもある後藤章暢会員が本プロジェクトの説明を流暢な英語で行い、賛同の拍手を頂き、樋口一哉会長がバナー交換を行い、最後は、手に手つないでのように、全員が手をつなぎ一つの輪になって合唱して閉会となった。

#### 9月26日（火）：ハワイ大学医学部訪問

ホノルル RC 訪問後、VTT メンバーは、再度、Nagomi フォスターホームズに向かい、実習を行ったが、この間、神戸東 RC の随行メンバーは、ハワイ大学医学部を訪問し、その授業風景を見学した。ハワイ大学医学部は、医学部としての附属病院を持たず、臨床実習は市中病院で行い、医学部としては特殊な形態であったが、その代わり、学生が患者役となり病歴聴取や診察手技の習得を行い、1体一千万円もするシュミレーションモデルを使った実習などに注力されていました。

#### 帰国：

現地時間 9月27日（水）VTT メンバー、随行ロータリアン共にアメリカ出国

日本時間 9月28日全員無事帰国し、プロジェクト完了

#### まとめ

#### VTT における成果

HV ボランティア先進国であるアメリカの現在のプログラムに基づき、現役 HV が直接指導、意見交換を通して、終末医療に携わる HV の資質・能力の向上が得られ、さらに、今回の交流を通じて、今後、さらなる緊密な情報交換及び交流の人脈の構築が出来ました。

#### 今後の活動とその評価について

- ① 帰国後、参加者に研修報告を作成しハワイへ送り、現地基準での添削・評価を行います。
- ② 神戸つむぎの会の総会、定期集会における活動、研修の内容をハワイへ送り、現地基準での添削・評価を行います。
- ③ 公益財団法人 神戸国際医療交流財団が、国内事情と国際基準の整合性を評価し、神戸つむぎの会の総会、定期集会を指導します。
- ④ 神戸東 RC をはじめ、近隣各 RC への卓話の機会を与え、啓蒙内容の評価・判定を卓話先の RC にお願いします。

#### 謝辞

この度の「ホスピスボランティアハワイ研修プロジェクト」実施に当たっては、下記の皆様に感謝いたします。

ホノルル RC：直前会長 Lyla Berg Ph.D. 及び Hiroko Dewitz 及びメンバー、

Women Support Center of Hawaii：Kaori Fiack、Hitomi Uryu 及びメンバー

Nagomi フォスターホームズ： Kayoko Miura,RN CHPN 及びスタッフの皆様

姫路南 RC：岡田 兼明 元会長ご夫妻

有川 裕之 地区国際奉仕委員会副委員長兼国際奉仕小委員長

内藤 浩一 国際奉仕委員会委員





第 2680 地区ロータリー財団委員会

資金推進小委員会 委員長 松井 照男

## 「ロータリー財団財団月間に因んで」

世界で良いことをする為のポリオ・プラス・ロータリーカード・資金推進の合同、財団寄付促進プロジェクト

今年度、RI 管理委員長からの報告ですが、寄付者の惜しみないご支援のおかげで 4 億 3,400 万ドル（約 600 億円）を集め、ファンレイジング 4 億 1,000 万ドルの年次目標を上回ることができました。経済的、社会的、環境的に多くの困難がある中、クラブや地域社会での奉仕を継続している会員の皆様に心より深く感謝いたします。

過去 5 年間で、ロータリー財団は、約 1 億人の人々を支援してきました。

リソースさえあれば、もっと多くの数えきれないほどの人々に手を差し伸べて支援できるはずです。今後 5 年間で、この 2 倍の人々を救うことができます。

私たちが必要としている人々を助けるために、補助金を必要としているのです。

だからこそ、今年度、RI 財団管理委員会では、これまでの最高額となる 5 億ドルという、野心的な寄付目標を設定しました。

内訳はこのようになります。補助金の資金源となる年次基金は、1 億 5,000 万ドル、ポリオ根絶には、5,000 万ドル、それにビル&メリンダ・ゲイツ財団からの 1 億ドルが上乗せされます。恒久基金とロータリーの未来については、直接寄付が 6,000 万ドル、誓約が 8,000 万ドルで、合計 1 億 4,000 万ドルを目標としております。又、直接寄付、グローバル補助金への現金拠出、災害対応基金の寄付など、6,000 万ドルの寄付を集めたいと思っております。

これを実現するためには、ロータリアンとローターアクターの皆さん全員のご協力が必要です。

しかしながら、ロータリー会員の 80%以上がポリオ・プラスに寄付していないことや、60%以上がロータリー財団にまったく寄付していないことをご存知でしょうか。120 万人の会員を要する団体にとって、これは、毎年 90 万人近くの方が寄付していないことを意味します。

この 90 万人一人一人が年に 100 ドル（約 13,800 円）を寄付するだけで、それがどれほど大きな違いを生むのか想像してください。大口寄付者に頼らず、調達する必要がなくなるのです。

大口の寄付者は、勿論のこと大変素晴らしい事ですが、ロータリー財団委員会として、皆様方に申し上げたいのは、少額でも寄付をしようと思われる、ロータリアンの裾野を広げることが最も重要であり、この度、皆様方をお願いしたい重要なポイントであります。今年度も昨年と同様に、ガバナー方針として、年次基金一人当たり／160 ドルとポリオ・プラス寄付一人当たり／40 ドルを目標として設定致しました。

昨年度は、皆様方のご協力のもと年次基金目標額の一人当たり／160 ドルを超え、162.23 ドルを達する事が出来ました。

この快挙に対し、賛同して頂き、目標額を上回ったクラブがこの度、26 クラブございました、又、



ポリオ・プラス寄付は、目標額を残念ながら上回ることはできませんでしたが、一人当たり／40ドルの目標に対して、ご賛同いただいた達成クラブが、11クラブございました。誠にありがたい次第であります。

そこで、更に、ご理解ご協力を賜るため、今年度も昨年同様、資金推進小委員会では、表題にもごございます通り「世界で良いことをする為のポリオプラス・ロータリーカード・資金推進の合同財団寄付促進プロジェクト」を立ち上げました。

ポリオの根絶は、寄付と活動に対して決して手を緩めては、根絶を成し得る事がけっしてできません、そこで、今年度は、ポリオ・プラス・ソサエティー(PPS)を設定し財源の確保に努めてまいりたいと考えております。又、同様にロータリーカードの普及についても宜しくお願い致します。

最後になりましたが、昨年同様、クラブと会員の財団寄付への意識向上の為、100%ポール・ハリスフェロークラブを是非とも目指して下さい。そし

て、更には、クラブが所有する認証ポイント、個人のポイントを有効的に使い達成を目指すと共に継続的な寄付活動を何卒お願い申し上げます。

現在 2680 地区における認証クラブは、9クラブでございます。

少しでも、多くのクラブが認証できるようにお手伝いが出来れば幸いと存じます。

ロータリアンは、奉仕をするために入会したわけですから、当然ながらそれを支える財源は、必要不可欠であります。

多くの奉仕をすることから公共イメージの向上につながり、しいては、そんな活動を一生懸命に行っているロータリークラブに魅力を感じ、入会してくる、新入会員の増強にも繋がるものと信じております。

どうか皆様方には、ご理解を頂き、これからも地区財団委員会一同、精一杯頑張っておりますので、何卒ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。







## 「私とロータリー、 これまでとこれから」

国際ロータリー第2680地区 パストガバナー  
次期行動計画委員会委員長

高瀬 英夫  
(西脇 RC)

### < 自己紹介 >

1946年(昭和21年)8月 西脇市生まれ 77歳

米山梅吉氏：1868～1946年4月

ポールハリス氏：1868～1947年1月

1996年 西脇ロータリークラブ入会

2001-02 “ 幹事

2008-09 “ 会長

2016-17 東播第3グループ ガバナー補佐

2020-21 ガバナー

2022-24 戦略計画委員会委員長

2024-25 行動計画委員会委員長

職業分類：綿製品仕上げ(播州織業界)

### < ロータリーで出会った心に残る言葉 >

・深川純一 PDG (1997年新入会員、職業奉仕セミナーにて)

「職業奉仕とは、会社を潰さない事である」

・杉谷元 RI 理事 (2016年 第3ゾーン会員増強セミナーにて)

「ロータリーが会員増強に難渋しているのは、ロータリアンが自信を持ってロータリーの魅力を語れないからではないでしょうか」

・鈴木一作 PDG (2800地区 PDG 寒河江 RC)  
(GUY GUNDAKERのロータリー観より)

「ロータリーに入会すると本来なら会うことすらなかったであろう方々と友人になり、彼らのロータリアンとしての職業観や人生観、人柄に触れながら、職員管理、自己管理、円満な人間関係の在り方などを学び、いつしか自分も価値ある立派な生き方(ロータリー精神の涵養と実践)に励むようになるのです。ロータリーのおかげで人間的にも成長すると同時に人生も豊かになるのです。だからロータリーは発展してきたのではないのでしょうか」

・安岡正篤(陽明学者)

「縁尋機妙 多逢聖因(えんじんきみょう たほうしょういん)」

良い縁が更に良い縁を尋ねて発展してゆく様は誠にたえなるものがある。

いい人と交わっていると良い結果に恵まれる。

### < これからのロータリー > 行動計画委員長として

2023年11月 RI 理事会の決定事項

・2025-26年度から、会長の年次テーマとロゴの作成を廃止する

・2024-25年度からクラブ、地区レベルの3年間の段階的な行動計画を設定する

↓↓↓↓↓

今後、ロータリーは単年度ごとにクラブの会長が方針を決める流れから大きく変化する。→単年度ではなく、複数年にわたるクラブのビジョンと行動計画が不可欠になる。単年度制からの脱却→クラブ復活のチャンス

⇒クラブをしっかりとデザインし、ビジョンを明確に



し、具体的な行動計画を立てよう。

＜神戸東ロータリーさんへのお願い＞

- ・RI, 2680 ビジョン声明、地区ビジョン・行動計画を参考に、神戸東さん独自の特色あらビジョン・行動計画を作成し、毎年見直し、全会員様で共有をお願いします。地区のお手本クラブになってください。
- ・自クラブの歴史を学び6人目のガバナー輩出を計画に!!!

高山 忠雄氏 (1970-71) (創立17年目)  
安福武之助氏 (1977-78) (7年後)

金子 太郎氏 (1985-86) (8年後)

赤木 文生氏 (2001-02) (16年後)

久野 薫氏 (2011-12) (10年後)

( )

- ・地区委員会へのご奉仕をお願いいたします。

＜小泉純一郎元首相からのロータリアンへのメッセージ＞ (RI2750 地区大会講演会より)

少にして学べば壮にして為すあり

壮にして学べば老いて衰えず

老いて学べば死して朽ちず

(佐藤一斎江戸時代儒学者)







ケタン・チョウドリー  
ーラ パールドリエントー

私の名前はケタン・チョウドリー、日本の神戸在住のインド人三世です。私は自分をコベッコ、つまり神戸のインド人であることを誇りに思っています。私の祖父母は、神戸で真珠の操業を始めるため、1958年に日本の神戸に移住し、それ以来、私たち家族はここで4代目を続けています。私は神戸で育ちましたが、神戸のインターナショナルスクール(セントマイケルズインターナショナルスクールとカナディアンアカデミーインターナショナルスクールの両方)に通い、大学は生産工学を学ぶために米国インディアナ州ウェストラファイエットのパデュエ大学に進学したため、私の日本語の漢字能力は完璧とは程遠いです。私はインドで妻に会いました。彼女はインドのムンバイで育ち、結婚後神戸に移りました。私たちには2人の子供がいます。娘は現在ミシガン大学アナーバー校で勉強しており、息子はカナディアンアカデミーの高校生です。私はハイキング、サイクリング、スキー、スキューバダイビングなどのアウトドアアクティビティがとても好きで、家族の休暇にはそのようなアクティビティが含まれることがよくあります。同様に、日本で育ったので、幼少期から空手、相撲、少年野球にたくさん触れてき

ました。

神戸に住んでいる間、さまざまな団体に参加する機会があり、さまざまな経験、文化理解、友情に触れてきました。神戸青年会議所、日本インド商工会議所、神戸クラブ、日本真珠輸出協会、カナディアン・アカデミー・インターナショナル・スクールなどで数年から長年理事を務めました。私はこれらの組織を通じて、異文化間の社会活動や理解を企画・支援し、神戸市の国際性を強く維持し、前向きな変化を育み、貢献することを願って、常に架け橋になれるよう努めています。例としては、神戸クラブでドイツオクトーバーフェストやインドナイトを企画したり、香港、ムンバイ、バンコクで神戸をパールシティとして宣伝したり、日本からの近畿JC代表団の一員としてスリランカでのCSRプロジェクトに参加したりなどが挙げられます。

私のビジネスの背景は主に真珠と宝飾品のビジネスです。従来の国内外での卸売・貿易事業に加え、自社ブランドによるテレビ販売など多角化を図っております。また、完成品真珠、ブランド真珠、ダイヤモンド、カラーストーンのジュエリーを百貨店や個人店で販売するよう拡大してきました。当社は不動産分野でも事業を展開しており、テナントにオフィススペースを貸し出しています。2022年からはイタリアンカフェレストラン「カフェパスクッチ」のフランチャイズ事業にも進出し、新神戸、三宮、西宮ガーデンズに3店舗展開しています。私がこのビジネスに関わるようになったのは、イタリア人の友人とイタリア文化への理解があったからです。一番の理由は、私が彼らのコーヒーと食べ物に感銘を受け、東京だけでなく神戸でもそれを楽しめるようにしたいと思ったからです。

私の家系に関して言えば、私の家族の祖先はインドのラジャスタン州出身で、文字通り「王の国」と訳されます。実際、騎士道文化と戦士の規範(武士



道)の両方がここで最初に形成され、ラージプート族(インドの武士)の発祥の地であることに加えて、西と東に広がったと広く信じられています。スライドショーで共有したように、ラジャスタン州には誇り高く強力な文化遺産と象徴的な建築物があります。この州は多くの独立した王子国家または王立国家で構成されており、ポロというスポーツを含む武道の伝統を誇りに思っています。ジャイプール州の風景は、州都ジャイプール近くの乾燥した山岳地帯から、マルワール地方の砂丘のある砂漠地帯、メワール地方の緑豊かな植物まで、非常に多様です。また、ラムタンボアやバラトプルのような素晴らしい自然保護区でもあり、インドトラやその他のさまざまな種類の動物や鳥を見ることができます。ラジャスタン州はインド最大の州であり、観光地としても最も人気のある州の一つで、インド北西部に位置しています。皆さんも、祖先の故郷を訪れ、車や電車でジャイプール、ジョードプル、ウダイプル、ジャイサルメール、ピカネールの街を旅してみることを強くお勧めします。

インド人として、私たちは強い精神的なアイデンティティを持つこと、そして自己啓発の手段であると信じています。私の家族の場合、私たちはジャイ

ナ教というかなり独特な宗教を信仰しています。ジャイナ教はインド人口の1%にも満たないのですが、驚くべきことにインド政府の徴税額の25%に貢献しています。もう一つの興味深い事実は、神戸のインド人コミュニティの人口の多くもジャイナ教徒であり、神戸にはインドから世界中で最初に建てられた正式なジャイナ教寺院があるということです。ジャイナ教自体は何千年も前に遡る非常に古い哲学/宗教であり、ジャイナ教と仏教は非常に近い教えと価値観を共有しています。私たちの宗教の基本的な柱は次のとおりです。

- ・それは(より大きな善と信念に対して)信仰を持つことです
- ・本当の知識を追求することです
- ・正しい行いと行動をすることです

ジャイナ教は、いかなる生き物も傷つけず、憎まないことを意味するアヒムサの概念を最も強く固守しています。したがって、彼らは肉食主義の食事と文化を強く信じています。マハトマ・ガンジーもインド独立運動の非暴力運動の先駆者であり、敬虔なジャイナ教徒であった母親の影響で肉食主義者でもありませんでした。







## 岡本 浩司

—岡本浩司税理士事務所—

6月13日に伝統と格式ある神戸東ロータリークラブに入会させて頂くことになりました岡本浩司と申します。本日は自己紹介をさせて頂く機会を頂き誠にありがとうございます。

本日はプロフィール、会社概要、人生展望（趣味）、人生展望（夢）の4点を通して自己紹介をさせて頂きます。

私は1977年1月に両親と10歳年上の兄がいる4人家族の次男として神戸市中央区にて生まれ、大学卒業後の2002年に神戸市中央区にある税理士事務所に就職し、2017年4月に独立開業させて頂くこととなりました。勤務税理士当時は国際税務、一部上場企業の連結決算、企業の内部環境・外部環境の分析方法、マーケティングの方法、企業の収益改善の施策の立案方法等の企業再生業務を学べただけでなく、目標を実現するために自分で限界を設けずに結果を出すまでとことん努力するという今の考え方を教えて頂きました。

私は現在2017年4月に岡本浩司税理士事務所を神戸市中央区にて開業し、法人、個人の会計業務、税務業務の全般、企業再生業務、事業承継業務、企業再編業務を中心に活動しております。今後も弊社

の経営理念の一つであるお客様の満足、社員の満足、社会への貢献を高いレベルで実現できるよう一層企業努力していく所存でございます。

私の人生展望の趣味は旅行と登山とダイビングと麻雀です。と言いますのも私にはあまり物欲がなく、近年モノ消費からコト消費、コト消費からトキ消費などと言われますが、まさに私にとってはコト消費、トキ消費が人生において大切なものになります。元々あまり興味がなかったのですが、社会人になってから初めて行った宮古島への2泊3日の旅での経験が私を旅行好きにしてくれました。宮古島への出発前は仕事を3日も休むことへの抵抗感、罪悪感などにより旅行に行く決断をしたことをとても後悔しましたが、実際に宮古島につき、宮古島の自然、気候、人にふれることで気持ちは一変しました。それ以来旅行を通して訪れたい国、地域に出かけ、その歴史、文化を学び、自然や現地の人とふれあい、食事を楽しむことが私の一番の趣味となりました。

次に人生展望の夢は将来一般財団法人岡本荘を設立し、一からスタートする、一からの起業を考えている学生を金銭面、実務面、人的ネットワークの3点から支援する事です。起業を考えている学生のみが入居できる格安アパートを建築・運営し、施設内ミーティングルームにて各方面の専門家が事業計画の策定方法、決算書の着眼点、資金調達の方法、助成金の活用方法、新規事業のリーガルチェック等を定期的に講義する事が出来るアパートを作ることにより、神戸の起業家コミュニティの場を作りたいと思っています。そして、それらを通して神戸の街の活性化に少しでも貢献できればと考えています。

伝統を大切にしつつ時代に応じて新しいものを取り入れて会社を発展させることが大変難しいように一から起業することもまた大変ハードルが高いものと職業柄日々感じています。そして、一人でも多くの将来のある学生がそのハードルを越えるための合



宿所・岡本荘を作ることが私の夢になります。以上をもちまして私の自己紹介とさせていただきます。

最後にあらためまして、神戸東ロータリークラブに入会させて頂き誠にありがとうございます。神戸東ロータリークラブの伝統と格式に傷をつけることのないようにクラブ活動に邁進致します。本日はご清聴頂きありがとうございました。





前田 隆  
—クニ工務店—

前田 隆と申します。

昭和39年(西暦1964年)5月9日生まれの59歳。

株式会社クニ工務店 代表取締役。

現在の趣味はゴルフです。

当社の紹介です。1967年(昭和42年)創業で建築工事をメイン事業としています。

民間工事では戸建て住宅新築、リフォーム、マンションや工場などの大規模改修等。

公共工事では、主に神戸市の仕事を中心に、学校や公営住宅の大規模修繕など、いろいろ手がけております。

兵庫県出身の父と、徳島県出身の母の長男として生まれました。

幼稚園に入る前は寝屋川市に住んでいました。

当時はよく迷子になり、おまわりさんのお世話になっていたようです。

卒園後は西宮市に引っ越しました。

一時、剣道を習っていたが、すぐやめてしまった。

その後、高学年になって有名進学塾に通うが、落ちこぼれる。

この頃から、勉強嫌いに拍車がかかったように思います。

中学校時代は、友人の誘いで陸上部に入るが、1回競技で走っただけでやめてしまう。

どうやら何事にも根気がないようです。

この頃から音楽に興味をわき、友達に借りたギターで練習していました。

当時はフォークソングやニューミュージック。洋楽ではビートルズなどを聞いていました。

中学3年に進級する直前に、神戸市に引っ越し。

当時、神戸市立中学の生徒は丸坊主の決まりだったので、大変ショックを受けました。

高校時代は軽音楽部に入部。中古のエレキギターを手に入れ、ロックバンドを始める。

文化祭のステージで度が過ぎて職員室に呼び出されて怒られたこともありました。

この頃に、現在の家内と知り合いました。

大学時代は軽音楽サークルに入るが、2回生の時の新入生歓迎コンパで、些細なことで4回生の部長と居酒屋でけんかになり、やめてしまいました。

この頃にオートバイに興味をわき、免許を取得。

250ccのバイクで、峠道などで走っていましたが、21歳の年に自損事故で入院。

大学には4年いましたが留年してしまい、親にも迷惑かけっぱなしだったので退学して神戸に帰ることになりました。

神戸に帰ってきてからは、アルバイトなどしながら





らぶらぶらしていたところ、父に引っ張られて現在の会社に就職。昭和63年のことです。

最初の仕事は建築現場での掃除。ほこりまみれで、鼻の中まで真っ白けになったり、40キロもあるセメント袋や、石膏ボード、鉄筋運びなど、まさにキツイ・キタナイ・キケンな3K労働でした。

平成元年からは、資格取得のため、夜間に大阪にある建設専門学校に通い、卒業後は、2級建築施工管理技士の試験に合格し、その後も実務経験を積みながら勉強して1級建築施工管理技士にも合格しました。

家内とは平成4年10月に結婚。平成6年に長女が生まれ、8年には長男誕生。

平成10年に神戸青年会議所に入会。

現役のころは、総務委員長、会員室長などの役をやらせていただきました。

ゴルフはJC時代に始めました。

なかなか上達せず、途中でやめようかなと思った時期もありましたが、いろんなゴルフ仲間ができたことで、楽しくなり続けていると思います。

その後父も母も亡くなりましたが、今年6月には、長女夫婦に初孫が誕生。久しぶりのうれしい出来事でした。

そしてこの度は、伝統と格式ある神戸東ロータリークラブに入会させていただき、大変嬉しく思っております。頑張って活動させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



## 神戸港の暮れゆく夕陽を眺めながら 花火と美味しいお料理とワインを堪能しました



2023年10月17日にメリケンパークオリエンタルホテルの宴会場「海王」において、第2回会員親睦会を開催いたしました。

樋口会長のご挨拶から乾杯へと賑やかなに親睦会がスタートしました。神戸港の暮れゆく夕陽を眺めながら、フルコースの料理と美味しいワインを堪能しました。

宴も中盤に差し掛かると、「みなとHANABI-2023-神戸を彩る5日間」の花火が宴会場の目の前に設置された花火用台船から打ち合がります。我々は、メリケンパークオリエンタルホテル

のテラスより、酔い覚めにちょうど良い夜風にあたりながら美しい花火を鑑賞しました。

その後、宴会場に戻り、当クラブ70周年とかけて、今年70歳を迎えられるメンバーに一言頂きながら楽しい時間を過ごしました。

最後に、集合写真を撮影。企画の都合上、気にかけていた天候にも恵まれ、第2回の会員親睦会が皆様のご協力のもと無事に終えることができました。感謝申し上げます。

(親睦委員長 崎山 豊)





## 70年前の思い出の地で家族旅行を行いました



2023年11月17日金曜日老舗料亭旅館「銀水荘 兆楽」にて70周年記念家族旅行が開催されました。70年前に神戸東ロータリークラブのチャーターナイトを有馬温泉で開催しました。その思い出の地で70周年記念家族旅行の開催となりました。30名の会員・家族で温泉につかり身体を癒して70年の歴史を振り返りながら楽しく語らい、美味しい食事

を頂きながら飲んで歌って懇親を深めました。70年前のチャーターナイトの画像をながしながら食事をし、100周年もできたらいいなと語らいながら楽しい時間はあっという間に過ぎ1泊2日の旅行も閉会となりました。

(家族委員長 吉田 茂)





## 第8回 Kobe っこ親善ラグビー大会の後援



2023年11月20日(月)。しあわせの村多目的運動広場において2022年より当会が後援をしている「第8回 Kobe っこ親善ラグビー大会」が開催されました。この大会は神戸市認定保育園の4歳児、5歳児によるラグビー大会で、第1回から雨に降られた事が無いという非常に順調に開催されている大会です。

その目的は、「ラグビーはボールを手で扱え、走る、掴める、追いかける、と豊富な運動量が確保でき、またチームワークや思いやりの精神を学べるスポーツであることから、児童の健全育成」としております。

今回は14園から選手522名、保護者の応援など約2000名。ワールドカップ(W杯)フランス大会の人气がラグビー人気に拍車をかけたのでしょうか。年々規模が大きくなっているようでした。

神戸東ロータリークラブのメンバーはその白熱した試合の応援や怪我をしないように見守ることしか出来ませんでした。多くの協賛広告を出していただき、感謝しております。

そして、試合が終了し表彰式の後、神戸東ロータリークラブ樋口一哉会長の挨拶で今年も無事に大会は終了しました。

(青少年奉仕委員長 高橋 恵信)





## 恒例の友生支援学校・青陽灘高等支援学校 招待ボウリング大会を開催しました



社会奉仕委員会の毎年の定例活動として、神戸市立青陽灘高等支援学校（旧・神戸市立青陽東擁護学校。以下「青陽灘支援学校」といいます。）・同友生支援学校（以下「友生支援学校」といいます。）の学生を招待して行われるボウリング大会（於：神戸六甲ボウル）があり、本年もこれらのボウリング大会を開催させていただきました。

本年度からは全学年をご招待する方式を再開いたしましたので、下記開催要旨の通り、大変多くの生徒の方々にご参加いただき、大変盛会となり、ボウリングの上手い下手に拘わらず、生徒の皆さんが、ピンの倒れる爽快感を楽しんでいる光景に、思わず笑みがこぼれました。

なお、いずれの大会もメイクアップの対象とさせていただきますので、次年度以降もふるって

ご参加のほど、お待ちしております。

### 開催要旨：

- ・友生支援学校招待ボウリング

日時：令和5年11月27日（月）

10：40から正午ころ

参加人数：生徒79名、引率教師43名、

ロータリー会員11名

- ・青陽灘支援学校招待ボウリング

日時：令和6年2月19日（月）

10：30から正午ころ

参加人数：生徒114名、引率教諭69名、

ロータリー会員13名

（社会奉仕委員長 麦 志明）

## 70周年記念の忘年家族会を開催しました



2023年12月19日火曜日神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて18時より70周年記念忘年家族会が開催されました。樋口ロータリー年度の半期締めくり事業として、また70周年をお祝いしながら会員とその家族の親睦を深める事業として148名で開催されました。

混声合唱団のコーラスで始まり、アカペラグループのクィーンズティアーズハニーの歌声がクリスマ

スを静謐に迎えるに相応しい音色に耳をかたむけました。チャリティー抽選会も沢山の景品のご協力、沢山の抽選券の購入により素晴らしい金額のチャリティーができました。70周年をお祝いと共に楽しい忘年家族会を開催することができ皆様本当にありがとうございました。

(家族委員長 吉田 茂)







## 新春合同例会を開催しました (神戸東灘 RC、神戸ベイ RC、神戸東 RC)



2024年1月9日新春合同例会を開催いたしました。創立60周年の歳には、東灘クラブ、六甲クラブ、神戸東プロバスクラブに、東灘クラブがスポンサーとして誕生したベイクラブに参加いただきましたが、今回は現役幹事にご不幸があった六甲クラブ、新年会が同週にかさなった神戸東プロバスクラブはご参加を見合わせられ、神戸東灘クラブ・神戸ベイクラブにご参加いただき、合同例会を実施いたしました。コロナ禍で長らく実施されていなかった初釜

も川島元会員のご好意で開催され、鏡開きは東灘クラブのメンバーである泉酒造さまの仙介で、当クラブ会員である須藤雄二ガバナー補佐の乾杯発声ののち、終始、和気あいあいの雰囲気で行われました。創立70周年を4月に控え、皆さまのご協力のもと、新年のお祝いにふさわしく、良い雰囲気の例会となりました。

(幹事 和田 真一)



## 第4回三東会が創立70周年にあたる 神戸の地で行われました



2024年2月27日、第4回三東会が神戸メリケンパークオリエンタルホテルで開催されました。2020年よりコロナ禍により開催できずでしたが、2023年4月に大阪の帝国ホテルで第3回目が開催されました。今回、3クラブ一巡する形で、神戸では2回目の開催となりました。当クラブが創立70周年にあたるため、これまでの理事役員だけの集まりではなく、一般の会員にも多く参加を募りたいという樋口会長のご意向のもと、神戸東クラブが90名以上の会員で京都東と大阪東の方をお迎えいたし

ました。総勢約120名のにぎやかな会となりました。神戸東の皆さまのおもてなしのおかげで、相互の会員の交流という最大の目的を達成することができました。終了後も京都東・大阪東の両クラブの会員の方々から、たくさんのご好評の声をいただきました。当クラブにとっても創立70周年にふさわしく盛会に終わりましたこと、大変喜ばしいこととございました。この3クラブの交流と友情が末永く続くことを祈念いたします。

(幹事 和田 真一)









## ポリオプラスチャリティーゴルフの 予選会が開催されました。



3月13日（水）、恒例となった2680地区「ポリオプラスチャリティーゴルフ」神戸第一グループの予選会が好天の中、62名の皆さんに参加を頂き、盛大に開催されました。

ゴルフ参加者以外に31名の会員からの寄付、他クラブから3万円、合計495,000円の寄付金が集まりました。

当日、神戸東RC樋口一哉会長よりロータリー日本財団へ寄贈の目録が渡されました。

当予選会開催に関して須藤雄二ガバナー補佐、樋

口一哉会長、松井照男会員、神戸東RCゴルフ同好会から多大なご支援を頂きました。また、当日までの諸々の手配、準備には尾山宜道会員が全面的なサポートをして頂きました。

改めて多くの皆様の「ポリオプラスチャリティーゴルフ」へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

尚、本予選会では松井照男会員が優秀な成績で上位入賞を果たし、小野東洋ゴルフ倶楽部で開催される本戦出場権を獲得致しました。

（ロータリー財団委員長 鮑 悦初）

## 2024年国際ロータリー シンガポール国際大会 参加報告



2024年5月25日～29日、シンガポール・エクスポ・コンベンション&エキシビション・センターで、ロータリー国際大会が開催され、当クラブから、樋口会長、神田次年度会長、鮑ご夫妻、小林ご夫妻、後藤子弟、香山、石川、中井夫婦の計12名が参加致しました。

5月25日（土）の開会式は、参加者多数の為、同内容で午前組と午後組と2回に分かれましたが、何れの回でも各国、国旗入場の度に大歓声が飛び交い、国際大会ならではの盛り上がりを見せました。

今年度国際ロータリー会長のゴードン R. マッキナリ氏は、ロータリーでの活動で平和を推進することを参加者に呼びかけ、任期中の主要なイニチアチブである世界におけるメンタルヘルスと福利の向上への自身のコミットメントについても触れました。会長が焦点を当てるメンタルヘルスは、国際大会の分科会でも反映されたほか、ロータリーのほかの重点分野は大会前に行われたさまざまなプロジェクトや地域でのイベントでも紹介されました。

会期中、26日（日）RID2710（広島）・2680 共同ガバナーナイト、27日（月）姉妹クラブとして

シンガポール RC より Host Hospitality Diner に当クラブ参加者全員がご招待を受け友好と親睦を深めてまいりました。

5月29日、友情、興奮、文化的つながりの5日間となったシンガポールでの2024年ロータリー国際大会は、未来に焦点をあてて閉幕しました。本会議での講演者は、平和と親善の推進というロータリーの変わらぬ使命を強調したほか、次年度 RI 会長ステファニー A. アーチック（マックマリー RC 所属：米ペンシルバニア州）のテーマ“The Magic of Rotary”や、カナダのカルガリーで行われる次年度の大会の紹介もありました。シンガポール国際大会の様子は、登録料無しで見られますので興味のある方は下記 URL から見て下さい。

<https://www.rotary.org/ja/rotary-international-convention-concludes-optimism>

今後の国際大会の予定。

2025年6月21日～25日：カルガリー（カナダ）

2026年6月13日～17日：台北（台湾）

2027年6月5日～9日：ホノルル（米国ハワイ州）

（国際奉仕委員長 中井 章詞）





## 70周年最後の第3回会員親睦会を ラ・スイート神戸 オーシャンズガーデンにて開催しました



2024年6月18日にラ・スイート神戸 オーシャンズガーデン宴会場において、第3回会員親睦会を開催いたしました。

今回は、趣向を凝らし、会員の皆さんが着席された状況で定刻と共に会場を暗転させ、伴会員の司会のもと、戦災を逃れるためウクライナから日本に避難されたバレエダンサー（夫：チャバニユク・ボクダン様、妻：ヴィクトリア・コスティウチエンコ様、夫妻の子：クリスティナさん）家族の美しく、かつ、力強いバレエダンスを鑑賞する企画からスタートしました。

その後は、樋口会長の挨拶、乾杯の発声と共に宴

をスタートし、前述のバレエダンサーのご家族、その紹介者であるゲスト 打間奈津子さんと一緒に、新入会員の挨拶を交えて、食事などをしながら楽しい時間を過ごしました。

最後に、集合写真を撮影。第3回の会員親睦会が皆様のご協力のもと無事に終えることができました。感謝申し上げます。

また、素晴らしいダンスを披露してくださったダンサーの御家族が無事にウクライナに戻れる日が一刻も早く訪れることをお祈り申し上げます。

（親睦委員長 崎山 豊）



▲ 9月 26日 「神戸モダン建築について：  
神戸の街の歴史と魅力を体験しよう」  
建築史家 京都工芸繊維大学助教授 笠原 一人 氏



▲ 10月 3日 「天台宗の千日回峰行」  
高橋 恵信 会員



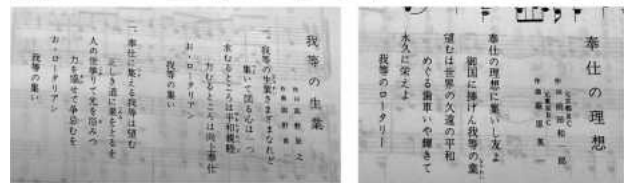
▲ 10月 17日 「ゲームチェンジ～青と黄色のVポイント誕生」  
カルチャー・コンビニエンス・クラブ(株)  
代表取締役社長 高橋 誉 則 氏



▲ 10月 24日 落語「親の顔」  
(株)エスシーリンク 代表取締役  
横浜山手 RC 会長エレクト 櫻井 富三男 氏



▲ 11月 14日 「地区補助金による VTT ホスピスボランティア  
ハワイ研修プロジェクト報告」  
国際奉仕委員会 委員長 中井 章 詞  
副委員長 後藤 章 暢  
公益財団法人  
神戸国際医療交流財団事務局長 谷村 俊之  
神戸つむぎの会 松井 由子  
山口 妙



▲ 12月 5日 年次総会  
歌唱指導 西村 雅子 先生



▲ 12月 12日 股関節外科医が気付いた「神の社は何故そこに」  
関西労災病院 整形外科 部長  
大阪大学医学系研究所 招聘准教授 安藤 涉 氏





▲ 1月16日「職業奉仕の心」  
職業奉仕委員長 澤田正樹 会員



▲ 2月20日 ご当地ソング「神戸・坂道・レンガ道」のお話  
歌手 友藤順 氏



▲ 1月23日「日本のロータリーとその職業奉仕理念」  
国際ロータリー第2680地区 パストガバナー  
安平和彦 氏



▲ 2月27日「姫路城と千姫」  
兵庫県立大学 非常勤講師  
姫路市教育委員会文化財担当 宇那木隆司 氏



▲ 1月30日「これからの新しい職業奉仕の考え方」  
神戸第一グループ ガバナー補佐 須藤雄二 氏



▲ 3月5日「米山記念奨学事業について」  
米山記念奨学委員長 石川泰平 会員



▲ 2月6日「中今」を生きる～自分の心をパワースポットに～  
生田神社 禰宜 安倍初男 氏



▲ 3月12日「ボウリングあれこれ」  
植村浩史 会員





▲ 3月26日「相続登記の申請義務化について」  
吉田 博 会員



▲ 4月2日 裁判で「真実」はわかるか？  
麦 志明 会員



▲ 4月16日「マーケット環境を踏まえた株式市場展望について」  
大和証券 投資情報部  
日米チーフストラテジスト 坪井 裕 豪 氏



▲ 4月23日「大切にしたい日本の文化」  
フリーアナウンサー 野村 朋 未 氏



▲ 5月14日 オペラの世界「フッチーニ～オペラ「蝶々夫人」」  
ソプラノ 梨谷 桃子さんを迎えて



▲ 5月28日「これでいいのか！神戸市政」  
田中 健三 会員



▲ 6月4日「困難を抱える女性と子供に住まいを  
～六甲ウイメンズハウス実現～」  
認定 NPO 法人女性と子ども支援センター  
ウイメンズネット・こうべ 代表理事 正井 禮子 氏



▲ 6月18日「神戸モダン建築祭のお話」  
NPO 法人 J-heritage 代表  
神戸モダン建築祭実行委員 前畑 洋平 氏

余韻会 (俳句同好会)

令和五年九月十二日 ホテルオークラ神戸 桜の間

秋刀魚焼く路地に煙の焦げてをり 奥田 好子

秋刀魚焼く煙の味も馳走かな 角田 伯堂

姿なく草むらで鳴くキリギリス 塚本 宗哲

虫採りに疲れし子等の寢息かな 則岡 弘士

ふと気付きペン先止まる虫の声 吉井 聖倅

賑やかに語り始める籠の虫 神田 淡京

ほろ酔ひの道草たのし虫の声 小林 一也

余韻会 (俳句同好会)

令和五年十月三十一日 ホテルオークラ神戸 桜の間

星空を見上げ夜寒をいとほしむ 奥田 好子

摩天楼狭間の月の昇りけり 角田 伯堂

見つければ次々採れる茸狩 則岡 弘士

早や灯る街灯見上げ夜寒かな 吉井 聖倅

もう一合松茸の香に誘はれて 神田 淡京

改札を襟立て急ぐ夜寒かな 小林 一也



余韻会 (俳句同好会)

令和五年十一月二十八日

ホテルオークラ神戸 桜の間

初冬の空の蒼さに雲白し

奥田 好子

立ち話短か目にする初冬かな

角田 伯堂

呼び止めて焼詣三個買ひにけり

則岡 弘士

初冬や光輝くマストの帆

松谷 泰山

熱燭やどの席からも国訛り

吉井 聖倅

熱燭に饒舌になる一と夜かな

神田 淡京

余韻会 (俳句同好会)

令和六年一月二十三日

ホテルオークラ神戸 桜の間

凍りつく能登の傷跡地震の跡

奥田 好子

老梅の一輪含む蕾かな

角田 伯堂

一人づつ顔を浮かべて賀状見る

則岡 弘士

街凍り動かぬ屋根の風見鶏

吉井 聖倅

新調のスイーツで臨む初句会

神田 淡京

こん身の一句持ち寄る初句会

小林 一也



余韻会 (俳句同好会)

令和六年三月二十六日  
ホテルオークラ神戸 桜の間

静寂なる受験会場控え室  
奥田 好子

小雨止み新芽の色の鮮やかに  
角田 伯堂

下萌に生きる力の石の下  
塚本 宗哲

洗濯の乾く迅さや山笑ふ  
吉井 聖倅

大試験最後のお守り握りしめ  
神田 淡京

大試験終へて家族の笑ひ声  
小林 一也

余韻会 (俳句同好会)

令和六年四月二十日  
ホテルオークラ神戸 桜の間

言祝の七十周年風光る  
奥田 好子

春の雲高野の空を被ひけり  
角田 伯堂

薫風や誓ひの指輪光をり  
吉井 聖倅

サックスの響く学び舎風光る  
神田 淡京

風光るゴンドラ見上げハーブ園  
小林 一也



絵と文 古津 彰宏

### 「オンフルール」

オンフルールはフランス北部ノルマンジー地方にあります。  
セヌ川の河口に位置する美しい景観をもつこの港町は多くの芸術家に描かれています。

## CONTENTS

3 役退任挨拶	1
創立 70 周年式典祝賀会	5
VTT ホスピスボランティア「ハワイ研修プログラム報告」	6
ロータリー財団月間に因んで	10
高瀬パストガバナー卓話	12
新会員自己紹介	14
第 2 回会員親睦会	20
家族旅行	22
第 8 回 Kobe っ子親善ラグビー大会	24
友生支援学校招待ボウリング大会	25
青陽灘高等支援学校招待ボウリング大会	25
忘年家族会	26
新春合同例会	28
第 4 回三東会	29
ポリオプラスチャリティーゴルフ	31
シンガポール国際大会	32
第 3 回会員親睦会	34
例会スナップ	35
余韻会	38

### 編集後記

2023-2024 年度の第 2 号の会報をお届けしました。

神戸東ロータリークラブ会報 No.400 号となります。

今年は年 2 回の発行ですので、今年度行われた盛り沢山のクラブ活動を掲載いたしました。70 周年記念の年にふさわしく、それぞれの活動が笑顔あふれる素晴らしい 1 年でした。また、クラブ会長テーマ「WORK FOR THE FUTURE」の通り、「未来に向けて頑張る」活動ができたのではないかと思います。75 周年！100 周年！の未来に向けてクラブ活動をみんなで楽しんでいきたいと思う 1 年となりました。

最後に、1 年間ありがとうございました。会報の原稿執筆、写真撮影等皆様のご協力に感謝申し上げます。

広報委員長 村井 通浩